



湖東 だより 第21号



心臓血管センター
湖東記念病院



ごあいさつ



副院長
馬淵 博

いよいよ夏の到来を迎え、毎日お元気でご活躍のことと存じます。また、常日頃お力添えくださいまして、心から感謝しております。

今回は、平成30年12月14日に公布された、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」（脳卒中・循環器病対策基本法）についてお話させて頂ければと思います。脳卒中と循環器病に対する国の政策は、平成18年に立法化された「がん対策基本法」に基づくがんへの対策と比較して、大きく遅れているのが現状でした。

循環器病は、がんと同じくらい死亡者数が多く、また発症後、後遺症が残ったり、入退院を繰り返すことも少なくなく、健康上の問題がない状態で日常生活を送ることができる期間である「健康寿命」と平均寿命が乖離する大きな原因でもあります。

急速に進歩している循環器病に対する高度医療を、国民全体が享受できるための診療体制の整備のほか、予防のために不可欠な、継続した教育・啓発活動、健診システムの充実、リハビリの普及などが進むことで、健康寿命の延伸による生活の質の向上、医療の均てん化、研究の促進が見込まれます。また結果的に医療費の抑制にもつながることが期待されます。

それには中核となる拠点病院の整備と配置が必要であり、それにより、心筋梗塞や脳梗塞の急性期では、再灌流療法の実施、そして亜

急性期では、迅速で適切なりハビリテーションの開始が患者の生命予後ばかりでなく、生活の質も大きく改善することが期待されます。

もう一つ重要なのが、行政の支援が必要な疾病登録です。その実施により循環器病の患者数や治療に関するビッグデータを得ることが可能となり、エビデンスに基づく疾病対策や新しい治療法の開発などが大きく進展するものと予測されます。

当院では、湖東、東近江地域での拠点病院として地域住民を守るべく、引き続き、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科が一体となり、全力で協力させていただきます。

時節柄、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。今後共、何卒宜しく御願ひ致します。



赴任のごあいさつ

心臓血管外科 医長
榎本 匡秀



日を追うごとに暑くなりますが、お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は多大なご指導を頂き、厚くお礼申し上げます。当院に心臓血管外科が開設されてから6年目を迎え、2019年4月より前医長である高島範之医師が滋賀医科大学医学部附属病院に異動するにあたり、新たに当院の心臓血管外科医長に着任しました榎本匡秀と申します。高島範之医師は人格者であり、諸先輩方の協力を得つつ湖東記念病院心臓血管外科の土台を築き上げました。着任後はその功績を目の当たりにし、身の引き締まる思いです。

私の自己紹介をさせていただきますと、栃木県足利市で育ち、栃木県立足利高等学校から新潟大学へ進学しました。大学卒業後は神奈川県鎌倉市の病院で2年間の初期臨床研修を行い、滋賀医科大学心臓血管外科に入局しました。滋賀医科大学医学部附属病院で2年間、岸和田徳洲会病院で2年間、滋賀医科大学医学部附属病院で再度2年間働き、今年で卒後9年目を迎えました。一人前の心臓血管外科医になるのに最適な場所が滋賀であると自ら選択し、人から人への縁でここまで来ることができました。家族を含め周りの人々の協力があった今滋賀で仕事ができているので、感謝しかありません。

心臓血管外科が扱う疾患の治療は決して一人ではできません。例えば緊急手術が必要となる急性大動脈解離を発症した患者さんを救命し社会復帰してもらうためには、疾患を鑑別に挙げる近隣病院の医師、病院まで搬送する救急隊員、病院で受付する事務職員、医師と共に対応する看護師、薬剤師、検査部職員、手術を共に行う麻酔科医師、臨床工学士、術後リハビリテーションを行う理学療法士、退院後に外来で治療を

継続する内科医師と多くのスタッフの協力が必要です。指揮系統において医師はチームの上に立つこととなりますが、常に自分と周りを俯瞰し、驕らず威張らず偏らずの理念が必須であると考えています。私の上司はその点に関して非常に厳しく、また別の上司はそれを忠実にこなしており、私が現在の環境に感謝している理由がそこにもあります。

心臓血管外科の医師が関与できるのは手術の数時間と術後の数週間で、患者さんの一生の中でほんの僅かな時間です。しかしながら、人の体にメスを入れるのが仕事であり、責任の密度はどの科よりも大きいです。患者さんに頼られ、メディカルスタッフに支えられ、周囲の先生に認められる湖東記念病院心臓血管外科であり続けるために同僚の南館直志医師と共に日々精進していきます。

暑さ厳しき折、ご自愛のほどお祈りいたします。これからも湖東記念病院を宜しくお願い致します。

赴任のごあいさつ

循環器内科 医長
辻野 泰



はじめまして、循環器内科の辻野泰と申します。

富山大学(旧富山医科薬科大学)を卒業し、卒後8年間は富山大学附属病院の循環器内科で研鑽を積んで参りました。後半の4年間は主に不整脈治療(デバイス植込み、カテーテルアブレーション)に携わりながら心房細動の基礎研究を行い、今年の3月に博士号を取得し、東近江市出身であるご縁で4月より当院で働かせていただくことになりました。

今後長きにわたり東近江の地域医療に貢献する所存でありますので、末永くよろしくお願い致します。

■循環器内科・心臓血管外科 外来担当表

	月	火	水	木	金	土	
循環器内科 ※予約制	午前	坂口	馬淵	村上名誉院長 (一般内科・循環器内科)	山路	村上名誉院長 (一般内科・循環器内科)	非常勤 (1,2,5週) 田崎 (3週) 動脈瘤、ステントグラフト
		山路	辻野	武田	前田	武田	山上 (4週)
	午後	前田	馬淵 ※完全予約制	坂口	山路 ※完全予約制	馬淵	
			辻野 ※完全予約制				
不整脈科 ※予約制	午前			静田 (2週)		静田 (4週)	
	午後			静田 (2週) ※完全予約制			
心臓血管外科	午前			榎本	南館	浅井 ※完全予約制	
						下肢静脈瘤 外来	

R 1.6 改訂

平成28年10月1日より午前診の受付が8:00~11:30となっております。

〈午前診〉受付 8:00~11:30 診察 9:00~12:00

〈午後診〉受付 13:00~15:00 診察 13:30~15:30

※月2回 京都大学医学部附属病院 不整脈科 静田先生が来院されます。

※ステントグラフトのご相談は田崎医師まで。

※ペースメーカー外来 毎月第3金曜日 午後(予約制)

※下肢静脈瘤外来 毎週土曜日(受付11:00まで)

■循環器内科外来・心臓血管外科外来について

平素は格別のご高配を賜り、また患者様をご紹介頂き厚く御礼申し上げます。

さて、循環器内科及び心臓血管外科外来についてご紹介させていただきます。循環器内科外来につきましては村上(名誉院長)・非常勤医師を除きまして、原則予約制となりますが、先生方よりご連絡頂きました際には、その医師が責任をもって診察させていただきます。

また、心臓血管外科に関しましても診察日以外でも可能な限り対応させていただきますのでいつでもご連絡下さい。

今後も地域医療機関との連携と患者サービス向上に努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。ご質問等がございましたら、お気軽に地域医療連携室までお問い合わせください。

地域医療連携室



ホームページアドレス
URL <http://www.subarukai.jp/>

■ご案内

○電車でお越しの方

JR能登川駅よりタクシーで20分、バスで25分

(市ヶ原〔角能線〕行き・湖東記念病院前下車)

近江鉄道八日市駅よりタクシーで20分、バス25分

(僧坊〔湖東線〕行き・湖東記念病院前下車)

○車でお越しの方

名神高速道路 八日市インターより15分

湖東三山スマートインターより5分

駐車場：150台

料金：無料

※駐車場内での事故、盗難、破損につきましては病院側では一切責任を負いませんのでご了承ください。

心臓血管センター 湖東記念病院

地域医療連携室 TEL 0749-45-4512

FAX 0749-45-3335

〒527-0134 滋賀県東近江市平松町2番地1

TEL 0749-45-5000 FAX 0749-45-5001